

質の高い大学教育推進プログラム ものづくり講演会

強力なレーザー光線をがん治療に活かせるか

工学部では、昨年度、文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム」に採択され、同プログラムの事業「夢を形にする技術者育成プログラム」を推進することとなりました。これは、本学部における教育方法の一層の改善を図り、本学部の理念・目的である「夢を形にする技術者 IMAGINEER」の養成に資するため、学生主体の統合型体験学習を通じて、学生たちが自分の頭で考え、自分の力を体感しながら自らの未来を切り開き、夢を形にする実現力を有した技術者を育成することを目的とした事業です。今回、この事業のより一層の推進を図るため本講演会を企画しました。多数の参加をお待ちしています。

講師：日本原子力研究開発機構 光医療研究連携センター
主任研究員 こんどう きみのり 近藤 公伯 氏

日時：平成 22 年 3 月 15 日(月) 13:30~14:30

場所：福井大学 文京キャンパス アカデミーホール

対象：興味のある方はどなたでも参加ください。

講演内容：

レーザーの技術は実に幅広く、例えば瞬間的に 1 千兆ワットという出力を生み出すことも可能です。これは世界中の原子力発電所の出力を合計しても到底手の届かない値なのですが、フェムト秒というホンの一瞬の間にエネルギーを集中することで可能になりました。このレーザーパルスを使えば、従来は 100 メートルぐらい必要とする加速器のサイズをミクロン程度まで縮めることができます。私たち原子力機構ではこの技術をがん治療に生かそうと考えています。講演ではこのような高強度レーザー技術とそれを利用したレーザー駆動がん治療器の開発についてお話ししようと思います。